

8月15日（水） 第1日目 晴れ

時間	場所	内容
* 4:00	F・A・P	◇フォルトゥナ・アルプス・プラッツに集合◇ 眠い目をこすりながらひとり二人とまだ暗いプラッツに集合…。
* 4:05		<p>全員集合 見送りに来てくれたお父さん お母さんにあいさつ</p> <p>選手たち「元気にいってきまーす！！」</p> <p>お母さんたち「ちゃんと帰ってこいよー！！」</p>  <p>成田へ向かったバスの中 意外と静かだ！</p> <p>途中、トイレタイム… サービスエリアのトイレを独占</p> <p>いつの間にかカードゲームが始まった</p>      <p>九州遠征からこの二人怪しい！！</p>
* 6:40	成田国際 空港	東京国際空港（成田）に到着 バスから荷物を出し空港内へ



時間	場所	内容
* 7:30	成田国際 空港第1 ターミナル	<p>成田へ着くなりみんな元気に行動！！ スーツケースを置いて買い物やら朝食 やら…。</p>  <p>3人で探検…迷子になる なよ</p> 
* 8:00		<p>いよいよチェックイン…まずは荷物預け</p>  <p>そして出国手続き 荷物 検査は行きも帰りもドキ キだったね…みんな！</p>  <p>この写真撮影直後、ここでの撮 影禁止…と怖い顔で注意されま した…すいません。</p>
* 9:55		<p>成田空港ドイツへ向けて離陸 飛行機はルフトハンザ航空のジャンボジェットLH-711便です。</p>  <p>飛行機内10時間のひと時..</p> <p>寝るか、食べるか…あとは…？</p>       <p>機内食はこれだ！</p> 

時間	場所	内容
14:30	フランクフルト国際空港	ドイツ国内到着 飛行機の乗り継ぎの為フランクフルトへ
		  <p>空港内を散策・・・そして次の飛行機に乗る為にターミナルへ移動。 飛行機へバスの中ではスッチーと同上！ まず小俣がちょっかい・・・それに続いて混二が義理ちょっかい・・・。 左の小倉の視線が・・・怖い！？</p>
17:00	フランクフルト国際空港	デュッセルドルフ空港へ向けて離陸
18:10	デュッセルドルフ空港	デュッセルドルフ空港到着 無事全員のスーツケースも到着 → ここからお世話になるヒルデンの方々の車に乗って目的地であるヒルデン市に向かった。
20:00	ヒルデン市内ホテル	ホテルは、昨年と同様 『AMBER HOTEL HILDEN』 今までは到着後ホームステイ・・・となるのですが、今回は、最初にホテル滞在、後半ホームステイということになっています。 選手たちもまずはホテルに着いてホッと一息・・・。
20:30	レストラン	『Pfannkuchen Haus Restaurant Bauernstube』
		<p>今夜のメニューは？</p>  <p>『Sauerkraut』 酢漬けキャベツ これ、おれの大嫌いなやつ……。 日本の漬物が食べれないおれには、このドイツ版漬物は本当にきつい……じゃあなんで？ 注文したかって?? →</p>  <p>選手みんなにドイツの食文化を味わって欲しかったから……俺の愛情だよ！！</p>
22:30	ホテル	食後ホテルに戻り、ミーティング・・・そして各部屋に入り就寝……みんな寝るぞー！

【渡辺 稔】 1992/8/10生まれ

ドイツ遠征初日ということもあって、最初は言葉などがまったくわからず、少し戸惑った。しかし、あいさつなどをしていく事により、だいたいのドイツ語がわかってきた。

買い物には自分からチャレンジしていくことにより、ユーロについてわかってきたので良かったと思う。

飛行機の中では友達とはなれてしまったが、隣の外人と話をしたり、勉強をしたりして自分の為になったと思う。飛行機の食事のとき、スチュワーデスに「肉にしますか？」「魚にしますか？」と英語できかれて…最初、訳がわからなく、隣の人がゆっくり話してくれたのでわかりました。その時は、とてもありがたく思った。

明日からは、試合もあるので、しっかりとしたプレーをしていきたいです。



【土橋 和弥】 1992/8/12生まれ

今日は初日ということいろいろな面で困ったこともあったけれど、自分から話しかけたりして、コミュニケーションを上手にできるよう頑張りました。初めての飛行機では、離陸・着陸の時に体がフワツとして空を飛んでいる感じがしました。また機内で初めて生のドイツ人を見ました。目の色や鼻の高さが違い、非常にイケテいました。

英語が通じるので、飲食の時は英語でコミュニケーションをとりました。機内では日本でも馴染みのある音楽が聴けたり、映画が観れたりしてリラックスすることができました。ホテルはすごく豪華で良く、食事の味も美味しかったので、たくさん食べることができました。

設備などはほとんど日本と変わらなくて使いやすかったです。ドイツの人は笑顔が絶えず、優しさにあふれていて良かったです。